

令和元年度

社会福祉法人白浜町社会福祉協議会

事業実施報告書

(自 平成31年4月1日 ～ 至 令和2年3月31日)



社会福祉法人 白浜町社会福祉協議会

令和元年度事業実施報告

30年余続いた平成の時代が終わり、5月から令和と新たな元号となった本年度であるが、新たな時代の始まりは皆が期待したような穏やかな年とはならなかった。令和元年8月九州北部豪雨、令和元年房総半島台風（台風15号）、令和元年東日本台風（台風19号）など豪雨や台風による風水害で甚大な被害が発生するとともに、年明けからは新型コロナウイルス感染症が世界規模で流行し、人々の生命と生活を脅かしている。このように自然災害、感染症の流行など住民の普段の暮らしを苦境に陥れる困難が頻繁に発生している状況ではあるが、本会は白浜町内の地域の状態を見極めながら、実施可能な事業をすすめる地域福祉の推進を図った。

10月19日（土）～20日（日）に開催された、「第4回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」においては、「令和元年度地域福祉のひろば」を開催し、基調講演、実践発表及び意見交換を行った。基調講演は、「誰もが学びあう＜地域＞（まち）をめざして」と題して、日本福祉大学社会福祉学部、小林准教授に講演いただき、実践発表では、白浜おはなしの会代表による「子どもたちにおはなしの楽しさをー白浜おはなしの会の活動ー」、富田中学校3年生から「富田中学校の地域コミュニティで学ぶ活動について」、松原地区ボランティアによる「松原地区ボランティア活動について」の3つの発表を行った。

また、社会的包摂にむけた福祉教育と福祉共育の推進に取り組み、学校からの依頼に基づき各学校で行う福祉体験学習の開催を支援し、町内会長・区長、民生委員、地域住民や老人クラブ、ボランティア、障害を持たれた方などの参加を得て、「ふくしの学び」を促すとともに、体験や交流・ワークショップなどを通じて、同じ地域で生活し、共に共感し学びを共有できる場づくりを行った。

なお、多発する災害への対応訓練として、本年度は「地域を超えた助け合い。平常時につながり、災害時にも助け合う。」をスローガンに和歌山県社会福祉協議会（和歌山県災害ボランティアセンター）と田辺市・西牟婁郡内の社協の共催による、「令和元年度広域・同時多発災害対応訓練」を、1月に田辺市において実施し、本会は企画準備段階から参画した。

3月に入り、国において総額207億円の予備費を原資とした「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付」が実施され、貸付制度実施主体である和歌山県社会福祉協議会との連携のもと、町内の住民に対する直接の窓口として本会は、相談支援、申込み受付、申込書作成支援等を行い、新型コロナウイルス感染症の影響による休業、失業等生活資金で悩む住民の支援を行って現在に至っている。

本会は、住民一人ひとりが住み慣れた自宅や地域で安心してその人らしく暮らし続けられるよう、「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」の実現を目指して取り組みを進めた。

1. 法人組織の運営（経営）基盤の充実

理事会、評議員会を開催し、本会の法人運営に関する重要事項や事業の実施について協議、決定を行った。

①理事会 6回 (理事定数：7名以上15名以下、監事定数：2名以上)

会議名 開催日	議長・出席数	議案審議内容
第1回理事会 令和元年 6月 5日	議長：西浦敏和 (12名・監事2名)	議案第1号 平成30年度事業報告及び決算の承認について 議案第2号 評議員候補者の推薦について 議案第3号 令和元年度定時評議員会の招集について 議案第4号 令和元年度収支補正予算(第1号)について 会長業務執行状況報告
第2回理事会 令和元年 6月 24日	議長：寺脇孝男 (13名・監事2名)	議案第5号 会長、副会長の選定について 議案第6号 企画委員会、広報啓発委員会、及び問題別委員会(白浜町地域福祉推進計画評価委員会)の組織について 議案第7号 評議員選任・解任委員の選任について
決議の省略による理事会 (第3回理事会) 令和元年 8月 5日		議案第8号 (仮称) ボランティア活動及び多目的活動室設計監理業務委託契約の締結について

会 議 名 開 催 日	議 長 ・ 出 席 数	議 案 審 議 内 容
第 4 回 理 事 会 令 和 元 年 1 2 月 1 6 日	議 長 : 湯 浅 主 久 (1 4 名 ・ 監 事 2 名)	議 案 第 9 号 令 和 元 年 度 収 支 補 正 予 算 (第 2 号) に つ い て 議 案 第 1 0 号 令 和 元 年 度 第 2 回 評 議 員 会 の 招 集 に つ い て 会 長 業 務 執 行 状 況 報 告
決 議 の 省 略 に よ る 理 事 会 (第 5 回 理 事 会) 令 和 2 年 2 月 2 5 日		議 案 第 1 1 号 評 議 員 候 補 者 の 推 薦 に つ い て
第 6 回 理 事 会 令 和 2 年 3 月 1 7 日	議 長 : 湯 川 秀 樹 (1 3 名 ・ 監 事 2 名)	議 案 第 1 2 号 令 和 元 年 度 第 3 号 補 正 収 支 予 算 に つ い て 議 案 第 1 3 号 令 和 2 年 度 事 業 計 画 に つ い て 議 案 第 1 4 号 令 和 2 年 度 当 初 予 算 に つ い て 議 案 第 1 5 号 正 規 職 員 就 業 規 則 の 一 部 改 正 に つ い て 議 案 第 1 6 号 嘱 託 職 員 就 業 規 則 の 一 部 改 正 に つ い て 議 案 第 1 7 号 職 員 給 料 規 程 の 一 部 改 正 に つ い て 議 案 第 1 8 号 令 和 元 年 度 第 3 回 評 議 員 会 の 招 集 に つ い て

②評 議 員 会 3回 (評議員定数：15名以上31名以内)

会 議 名 開 催 日	議長・議事録署名人 (敬称略)・出席数	議 案 審 議 内 容
定時評議員会 令和元年 6月24日	議 長：赤堀哲也 署名人：三橋明子 署名人：尾崎博彦 (24名・監事2名)	議案第1号 平成30年度事業報告及び決算の承認について 議案第2号 令和元年度収支補正予算(第1号)について 議案第3号 湯川秀樹氏を理事として選任する件について 議案第4号 大谷昌明氏を理事として選任する件について 議案第5号 横矢貴彦氏を理事として選任する件について 議案第6号 川口祥子氏を理事として選任する件について 議案第7号 川野眞夫氏を理事として選任する件について 議案第8号 田井たづ子氏を理事として選任する件について 議案第9号 吉田暢子氏を理事として選任する件について 議案第10号 生本洋三氏を理事として選任する件について 議案第11号 湯浅主久氏を理事として選任する件について 議案第12号 寺脇孝男氏を理事として選任する件について 議案第13号 中本 進氏を理事として選任する件について 議案第14号 冷水喜久夫氏を理事として選任する件について 議案第15号 西浦敏和氏を理事として選任する件について 議案第16号 七條安司氏を理事として選任する件について 議案第17号 光吉直也氏を監事として選任する件について 議案第18号 田井郁也氏を監事として選任する件について

第2回評議員会 令和元年12月23日	議 長：三栖健次 署名人：久保道男 署名人：中本廣子 (24名)	議案第19号 令和元年度収支補正予算(第2号)について 議案第20号 辻本博文氏を理事として選任する件について 議案第21号 榎本和夫氏を理事として選任する件について
第3回評議員会 令和2年3月27日	議 長：上村佳士 署名人：寺本幸司 署名人：小森弘子 (17名)	議案第22号 令和元年度第3号補正収支予算について 議案第23号 令和2年度事業計画について 議案第24号 令和2年度当初予算について

③企画委員会 2回

企画委員会委員：第1回(冷水喜久夫【委員長】、湯浅主久【副委員長】、中本進、大谷昌明、横矢貴彦、川口祥子、西浦敏和、三栖健次)

第2回(冷水喜久夫【委員長】、湯浅主久【副委員長】、七條安司、大谷昌明、横矢貴彦、川口祥子、寺脇孝男、西浦敏和)

オブザーバー：第1回企画委員会 会長 石田武夫、第2回企画委員会 会長 中本進

会 議 名 開 催 日	出席者数	協 議 内 容
第1回企画委員会 令和元年5月21日	冷水委員長以下6名、石田会長	1. 社会福祉充実計画の変更について 2. その他

<p>第2回企画委員会 令和元年 9月17日</p>	<p>冷水委員長以下7名、中本会長</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企画委員会委員長・副委員長の互選について 2. 「第4回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」の開催内容について 3. 「第4回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」における社会福祉協議会会長表彰候補者並びに感謝状授与候補者の審査について 4. その他
--------------------------------	-----------------------	--

④広報啓発委員会 1回

広報啓発委員会委員（川野眞夫【委員長】、田井たづ子【副委員長】、冷水喜久夫、七條安司、榎本和夫、湯川秀樹、吉田暢子）

オブザーバー：会長 中本進

<p>会議名 開催日</p>	<p>出席者数</p>	<p>協議内容</p>
<p>第1回広報啓発委員会 令和2年 3月17日</p>	<p>川野委員長以下6名、中本会長</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広報啓発委員会委員長・副委員長の互選について 2. 令和元年度広報啓発活動実施状況について 3. その他

⑤評議員選任・解任委員会 2回

評議員選任・解任委員：第1回（安田延男【監事】、國本徹、脇江俊夫【外部委員】、大久保道博【事務局員】）

第2回（田井郁也【監事】、國本徹、脇江俊夫【外部委員】、松本隆志【事務局員】）

会議名 開催日	出席者数	協議内容
第1回評議員選任・解任委員会 令和元年 6月13日	安田延男以下3名	1. 社会福祉法人白浜町社会福祉協議会評議員の選任について 2. その他
第2回評議員選任・解任委員会 令和2年 3月 6日	田井郁也以下3名	1. 社会福祉法人白浜町社会福祉協議会評議員の選任について 2. その他

⑥地域福祉推進計画評価委員会 1回

地域福祉推進計画評価委員会委員（冷水喜久夫【委員長】、田井たづ子【副委員長】、川口祥子、小山洋治、七條安司、城 皆子、十河 崇、辻本博文、寺脇孝男、西浦敏和、中島シゲ子、平阪 恵、湯川秀樹）

オブザーバー：会長中本進、白浜町民生課福祉係係長 平野健志、白浜町民生課福祉係主査 吉田雄太

助言者：日本福祉大学社会福祉学部教授 野尻紀恵

事務局（事務局長、事務局次長、地域福祉担当職員4名）

会議名 開催日	出席者数	協議内容
第1回地域福祉推進計画評価委員会 令和2年 2月19日	冷水委員長以下11名、 中本会長、民生課福祉係 平野係長、吉田主査、 日本福祉大学野尻教授	1. 地域福祉推進計画の概略と進捗状況報告について 2. 令和元年度地域福祉推進計画フィールドワーク（日置川地域視察） 3. 助言者からの全体の評価について 4. 意見交換 5. その他

⑦会員（一般会員、団体会員、賛助会員）の拡大など自主財源の確保

- ・一般会費 5,533世帯(5434.4口) 5,434,400円（平成30年度5,567,700円 前年比97.6%）
 - ・団体会費 139件(207.4口) 1,037,000円（平成30年度1,044,000円 前年比99.3%）
 - ・賛助会費 9件(10.7口) 32,000円（平成30年度24,000円 前年比133.3%）
- 合計: 6,503,400円（平成30年度6,635,700円 前年比98%）

⑧情報収集と情報の提供

- ・町広報誌「広報しらはま」の2ページの紙面に広報「ふくししらはま」を掲載した。
- ・FMビーチステーションの番組内で毎週木曜日（PM 12：10～）に「福祉だより」を放送した。
- ・インターネットのホームページの適時更新及び充実を図った。

⑨役員研修の実施

- ・各種関係機関主催の研修会への参加・・・【日別行事報告書参照】

2. 白浜町地域福祉推進計画の推進

①地域福祉推進計画評価委員会フィールドワークの実施

富田地域内才野区や栄区での住民懇談会の実施、日置川地域内安居小学校訪問や市鹿野地区かあちゃんの里との交流会を実施し、また、上露地区への訪問など地域の実情の把握に努めた。

開催日：令和元年6月30日（日）～7月2日（火）

場 所：富田地域（才野会館・みのり館）、日置川地域（安居小学校・旧川添中学校他）

②地域福祉推進計画評価委員会の開催

- ・白浜町地域福祉推進計画評価委員会を設置し、委員会を開催した。【P1-7、1-8記載】

③地域福祉推進計画の実施状況の確認

- ・白浜町地域福祉推進計画評価委員会にて、進捗状況の確認を行った。

④地域住民との話し合いや相談などあらゆる接点からの福祉ニーズの拾い上げと分析

- ・地域に出向いて座談会等を開催し、地域住民、民生委員・児童委員並びに福祉委員からの相談などにより把握した福祉ニーズに基づき、地域住民、行政、他の関係機関と連携しながら課題解決に向けた取り組みの推進を図った。

3. ご近所福祉体制づくり（住民の助け合い・支え合い活動を活性化した地域の見守り・支援体制づくり）事業の推進

①地区担当職員(地域福祉専門員)の設置

- ・町内を3地域に区分し、地域福祉専門員を配置

②福祉委員活動の推進

- 福祉委員を委嘱し、福祉課題を抱えて困っている方と関係機関とのつなぎ役として、また、声かけ、訪問などで地域の情報を得ていただく見守り役としての活動をお願いした。

福祉委員数・・・ 496名 （白浜：365名、日置川：131名）

- 福祉委員会議（地区懇談会）・・・17ヶ所（16地区）で地区懇談会を開催し、福祉委員活動、社会福祉協議会活動、社協会費などについての説明並びに意見交換を行った。
- 福祉委員長会議・・・4回開催 福祉委員活動、社協会費、共同募金、歳末たすけあい募金、バザー活動などについて、各地区の福祉委員長（16名）や副委員長（17名）と協議を行った。

③地域福祉座談会の開催と支え合いマップづくりの実施

- 地域住民からのニーズに基づいた座談会、マップづくり活動、啓発活動、フォローアップ活動等を展開した。

地区	内容	開催日	参加者団体	参加者数
田野井	地域福祉座談会（サロン活動について）	5月26日	田野井地区住民	20名
三舞・川添	地域福祉座談会（KPT法）	6月12日	安居地区ボランティア	26名
阪田	地域福祉座談会（サロン活動について）	6月25日	阪田地区住民、ボランティア	6名
才野（安久川）	地域での支え合いの必要性和マップづくり	6月30日	安久川地区住民、才野区長、民生委員	14名
市鹿野	地域福祉座談会（これからの活動について）	7月1日	川添カフェカーちゃんの里	14名
南白浜	地域福祉座談会（富田中学校への支援について）	7月2日	中・栄地区ボランティア	11名
堅田上	地域福祉座談会（介護保険、防災について）	10月10日	堅田上地区住民、近隣町内会長	15名
マーメイドタウン	地域福祉座談会（高齢者相談会）	10月25日	マーメイドタウン地区住民	15名

地区	内容	開催日	参加者団体	参加者数
J A 女性会	認知症学習会、地域福祉座談会（K P T 法）	1 2 月 1 9 日	J A 紀南女性会白浜支部・富田支部役員	4 0 名
北富田	地域福祉座談会（地域での活動について）	1 月 2 2 日	北富田地区婦人会	1 2 名

④その人らしい「心豊かな生活」の実現を目指した地域住民の助け合い活動の啓発、推進

⑤要援護者との繋がりを構築することで、支援を求めやすくする環境づくり

⑥民生委員・児童委員、福祉委員、並びに町内会・区との連携強化

⑦地域住民、行政、社会福祉協議会の協働による地域福祉の推進

・地域で見守りが必要な方の継続的な訪問見守り活動などについて、地域住民、行政、社会福祉協議会が協働して活動を行った。

⑧住民の繋がりづくりを目的とした「あいさつ運動」の推進

・関係機関への啓発及びイベントでのポスター掲示を行った。

⑨「令和元年度地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業」受託実施

・抜け漏れのない実態把握事業

○要支援者台帳の作成

70歳以上のひとり暮らし、寝たきりの障がい者、地域で気になる住民の実態把握を行い、要支援者台帳の整備を行った。

○訪問調査票及び実績報告書の作成

実態把握により抽出された要援護者の中で、サービスに結びついていない方に介護保険への紹介、地域支援サービス事業への支援を行った。

・地域支援活性化事業

○地区担当職員（地域福祉専門員）を地域のコーディネーター役として配置し、地域住民、民生委員・児童委員等からの相談対応の調整を図った。

○生活困窮者支援プロジェクト会議への参画 9回

町内における生活困窮者支援について情報交換や事例検討等を通じて、関係者が現状と課題を共有し、それらを支えるための「施策提言」「新たな社会資源の開発」も視野に入れ今後の対策を検討した。

令和元年度は事例検討を中心に、連携体制の強化や生活困窮者支援の物資、資金貸付等について協議を積み重ねた。

・その他の地域福祉推進事業

○住民向け講演会の実施

開催日：令和2年2月18日（月）

会 場：富田中学校体育館

内 容：子どもがまん中のまちづくり

子どもたちがまん中の学校活動や地域交流活動とはどんなものか？子ども自身が大切にされる事は、地域の宝である子どもをまん中に置いた地域づくりにつながるという内容について、野尻ゼミの学生の皆さんによる実践報告を参考に、地域活動について講演いただきました。

講 師：日本福祉大学 社会福祉学部 教授 野尻紀恵 氏

参加者：190名（富田中学校1年生79名、2年生69名、教員15名、一般27名）

4. ボランティアセンター活動事業の推進

①ボランティアセンター機能強化の実施

- ・ボランティアセンターにコーディネーターを配置し、他機関との連携・協働を意識し、ボランティアニーズや生活支援ニーズに対して制度の枠にとらわれない様々なコーディネートを行った。また、ニーズの多様化に伴い、年間を通じて各種分野別セミナーを開講し、新たなボランティア・市民活動の担い手育成を行った。

○分野別セミナーの開催

講座名	開催日	講師	参加者数
認知症サポーター養成講座	10月31日	白浜町社会福祉協議会 居宅介護支援事業所	21名
教育支援ボランティア養成講座	11月20日	白浜町社会福祉協議会 地域福祉課	7名
福祉サービス利用援助事業支援員養成講座&成年後見制度について	3月11日	白浜町社会福祉協議会 地域福祉課	中止

○洗濯ボランティア活動（白浜はまゆう病院に入院している方への洗濯活動）

対象者：4名 延べ活動回数：68回

②ボランティアの相談・登録・斡旋

- ・既存のボランティアグループに対する相談・斡旋等の活動支援を行うとともに、人口減少を視野に入れた次代の担い手育成に努めた。

○ボランティア登録数 延べ469名（白浜地区：370名、日置川地区：99名）

③ボランティア・住民活動情報の発信

- ・マスメディア等を活用し地域の住民に対するボランティア・住民活動情報の提供を行った。

○社協広報誌「ふくししらはま」にボランティア・住民活動情報や各種セミナーの案内を掲載

○社協ホームページ等を活用し、ボランティア・住民活動情報の発信

○FM ビーチステーションの「福祉だより」によるボランティア・住民活動情報の発信

④ボランティアグループ支援

- ・ボランティアグループの運営などに関する相談の受付・支援を行った。
- また、常時ボランティア活動に必要な設備や器材の貸し出しや情報提供を行った。

⑤各種イベント行事への参加・ボランティア啓発促進

- ・関係団体や社会福祉協議会の事業でのボランティア活動ニーズに基づき、さまざまな事業へボランティアコーディネートを行った。

※主な参加行事（その他は日別行事報告書参照）

名 称	日 付	場 所	参加者数
コスモスの郷フェスタへの参加	5月25日	白浜会館前	24名
百々千園盆踊り大会への参加	8月20日	百々千園	3名
南紀白浜福祉会夏祭りへの参加	8月24日	成華苑	37名
第4回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル	10月19日 20日	白浜会館・白浜町立総合体育館周辺	20名 81名
第33回しら浜ふれあい文化祭への参加	11月3日	住民交流センター	7名
クリーニンググリーンへの参加	12月8日	日置志原海岸・安宅周辺	14名

⑥災害を見据えたボランティアセンター活動事業の実施

- ・令和元年度広域・同時多発災害対応訓練への参画

5. 児童・生徒、ひとり親家庭などの福祉の推進

①児童館事業への協力

- ・「第19回わあいわあい子どもまつり」（11月2日）

②白浜町教育相談室「ふれあいルーム」への協力

- ・拡大会議、定例会議、個別ケース検討会議への参画実施

③母子福祉団体への活動助成（母子寡婦福祉連合会）

④青少年健全育成活動への協力

- ・白浜町青少年育成町民会議への参画
- ・白浜町青少年育成町民会議への活動助成

⑤支援事業の実施

- ・歳末支援金配分事業の実施（生活が困窮しているひとり親世帯）
- ・「みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」にて「子どもふれあいブース」を開催

⑥紀南里親支援連絡会への参画

6 . 障 がい 者 福 祉 の 推 進

①障がい者福祉施設等への支援

- ・ 白浜コスモスの郷、日置川みどり園、いきいき作業所への協力

第15回白浜コスモスの郷フェスタ（5月25日）への参加のほか、各施設、作業所の活動への協力を行った。

- ・ はまゆうサポータークラブ（はまゆう支援学校）への協力

②障がい者組織の自主活動支援

- ・ 白浜町身体障害者連盟への助成

③障がい者の生活支援等による社会参加への取り組み

- ・ ランディーズ（砂浜でも行ける車いす）の貸与を行った。
- ・ 西牟婁圏域自立支援協議会への参画
- ・ 白浜町障害福祉事業所連絡会への参画
- ・ 白浜町障がい児・者相談支援室ぼらんちとの連携

7 . 社 会 的 包 摂 に む け た 福 祉 教 育 と 福 祉 共 育 の 推 進

①「第4回 みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」及び「令和元年度地域福祉のひろば」の開催

- ・ ≪第4回 みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル≫

テーマ ～さらなる文化と福祉の広がりをめざして～

趣 旨 すべての町民の皆さまにご参加をいただき、生涯学習の必要性を深め、それぞれの地域や職場で「ともに学ぶ」「ともに育む」「ともに支え合う」心を共有できる文化と福祉の香るまちづくりをめざします。

主 催 しら・はぐフェスティバル実行委員会

主 管 白浜町教育委員会・白浜町社会福祉協議会

後 援 白浜町・白浜町議会

開催日：令和元年10月19日（土）・20（日）

会 場：白浜会館・総合体育館・青少年研修センター

※名称について：「しら」は①「白」②「学ぶ」から「知る」「調べる」を連想、「はぐ」は①「育む」②「支えあう」から「ハグ」を連想

町民みんなで学び、育ち、支えあい、楽しめるイベント（まつり）になるようにとの願いが込められています。

社会福祉功労者（団体）表彰式

社会福祉功労者 2名 感謝状贈呈者 2名

・《令和元年度地域福祉のひろば》

基調講演 テーマ「誰もが学びあう＜地域＞（まち）をめざして」

講 師 日本福祉大学社会福祉学部准教授 小林洋司 氏

実践発表 ・子どもたちにおはなしの楽しさを一白浜おはなしの会の活動— 白浜おはなしの会 代表

・富田中学校の地域コミュニティで学ぶ活動について 白浜町立富田中学校代表

・松原地区ボランティア活動について 松原地区ボランティア

②町内の小学校・中学校の児童生徒への福祉教育実践の支援

・児童・生徒のボランティア活動普及事業の実施 小学校9校、中学校4校へ助成

③学校などへのボランティア体験学習等の推進

- ・福祉体験学習（出前講座）の実施

学校からの依頼に基づき、小・中学生を対象に、「ふくしの学び」を促すとともに、体験や交流・ワークショップなどを通じて、同じ地域で生活し、共に共感し学びを共有できる場づくりを行った。

学 校 名	対象者	人数	協力者	人数	実 施 日	内 容
白浜第一小学校	6年生	35名	手話通訳士	1名	11月6日	事前学習会 ①手話学習、②車いす操作方法について
	6年生	35名	聴覚障害のある方	1名	11月8日	①聞こえに障害がある方との交流学習、②車いすで地域をでよう。（保護者と一緒に地域を歩く。）
	保護者	30名	手話通訳士	1名		
白浜第二小学校	6年生	9名	地域のボランティア	3名	7月10日	車いす体験学習
	保護者	5名				
	6年生	8名	七湯会	7名	10月24日	湯崎地区ガイドブック作成に向けた情報収集
	4・5年生	21名	七湯会	7名	12月16日	困りごとの聞き取り、湯崎の町歩きをして自分たちができることを考えよう
	4年生	7名	地域のボランティア	1名	11月28日	視覚障害のある方の生活を知ろう1 点字学習
			地域のボランティア	1名	12月9日	視覚障害のある方の生活を知ろう2 アイマスク体験
			視覚障害のある方	2名		
			盲導犬ユーザー他	3名	1月24日	視覚障害のある方の生活を知ろう3 白杖と盲導犬
3年生	-	七湯会	-	3月3日	コロナウィルスの関係で休校になり中止	
1・2年生	8名	七湯会	7名	2月21日	町調べの学習発表、昔の遊びを楽しもう	

西富田小学校	6年生	70名			12月6日	車いす体験学習
富田小学校	4年生	12名	地域のボランティア	3名	11月27日	車いす体験学習
北富田小学校	6年生	13名	地域のボランティア	9名	11月18日	車いす体験。地域のボランティアも一緒に車いす体験を行い、ふだんの暮らしを考える。
			視覚障害のある方	1名	11月25日	アイマスク体験
日置小学校	6年生	16名	地域のボランティア	12名	11月5日	車いす体験。地域のボランティアも一緒に車いす体験を行い、ふだんの暮らしを考える。
安居小学校	3・4年生	6名	役場危機管理室	2名	11月19日	総合（防災）学習。自分たちの防災マップを作ろう。
日置小学校・ 日置中学校合同	全校	-	日置区役員	-	11月5日	日置保育園を含めた教育機関、日置区、警察、消防、役場を含めた合同避難訓練
					2月18日	
安居小学校・ 三舞中学校合同	全校	-	地域住民 地域のボランティア	12名 (11名)	11月5日	小学校、中学校、安居区の合同避難訓練。 (地域の防災を考える座談会の開催)

④スマイルプロジェクト（白浜中学校区不登校対策協議会）への参画

平成29年度よりスマイルプロジェクト（白浜中学校区不登校対策協議会）の発足と共に参画。白浜中学校区の不登校が解決しない家庭では、衣食住や生活の安全性などが保障されていない環境が多く見られている事が明らかであり、学校の課題として捉えられがちな不登校課題をいかにして地域の課題として捉え、関係機関や地域のボランティアと共に取り組むよう参画している。3カ年計画の最終年として、①事業評価のため委員会への参画、②外部講師・アドバイザーの調整、③協議会の運営支援、④次年度以降の事業の継続協議への参画を担った。

⑤富田中学校 総合的な学習の時間『富中コミュニティづくり学』への参画

富田中学校の進めている「開かれた学校づくり」に参画し、『富中コミュニティづくり学』の重点目標である生徒が学校・家庭・地域といったコミュニティで育っているという視点に気づき、コミュニティで共に貢献するという目標を持った活動を通して、生徒の生活の充実と活性化を図り、学校や家庭・地域。そして自分に自信と誇りをもって生活できるようにするという気づきのための協働を行った。

学 校 名	学 年	協力者	人数	実 施 日	内 容
富田中学校	3年生全員	町内会長・区長、民生委員・児童委員、地域のボランティア	37名	7月5日	地域住民との防災マップづくり
	1年生全員	地域のボランティア	18名	9月30日	地域住民との花植え交流
	3年生全員	町内会長・区長、民生委員・児童委員、地域のボランティア	32名	10月3日	防災拠点調べのためのフィールドワークと地域住民との交流（登下校時の避難所調べ）
	2年生3組	老人クラブ会員	5名	10月15日	老人クラブ会員との調理実習
	2年生1組	老人クラブ会員	5名	10月18日	老人クラブ会員との調理実習
	2年生2組	老人クラブ会員	5名	10月23日	老人クラブ会員との調理実習
	3年生全員	老人クラブ会員	5名	10月31日	老人クラブ会員とのグラウンドゴルフ交流会
	1年生全員	地域のボランティア	11名	1月20日	地域住民との花植え交流と富田中学校における住民とのサロン活動について
	1年生全員	町内会長・区長、民生委員・児童委員、地域のボランティア	37名	2月17日	地域調べ学習のためフィールドワーク

⑥令和元年度ワークキャンプ ～地域とのやさしさあふれる交流キャンプ～in 市鹿野への参画

三舞中学校の生徒と地域住民との地域福祉座談会を行うなかで、地域での様々な課題や現在地域で取り組んでいること、又これから地域で出来ることを参加者の皆さんで出しました。その中から

- ・ 普段と違う環境の中で年の差を超えた活動を行い地域内での交流を深める
- ・ 大切な地域の環境資源を理解する
- ・ 地域の特産品について学ぶ

子どもたちと地域住民とでこれらのことを達成することを目標に、～地域とのやさしさあふれる交流キャンプ～in 市鹿野を開催。

開催日：令和元年8月3日（土）～4日（日）

場 所：旧市鹿野小学校及び周辺

参加者：生徒・児童21名、一般ボランティア5名、市鹿野ボランティア10名、安居ボランティア2名、青少年・公民館3名、
保護者・家族14名、教員9名、教員の家族4名、一般10名、職員14名、役員2名 （計94名）

⑦福祉教育モデル事業（県社協モデル事業）の取り組み

教育機関と地域住民から出る課題に対し、その課題の共有と解決に向けた中学校区での活動の展開を図った。

- ・ 三舞中学校区ワークキャンプ 座談会から出た開催地の変更、つながりづくりの幅を広げる。
- ・ 白浜町人権教育研究会への参加 白浜中学校区不登校対策研究協議会の発表やシンポジウムへの参画
- ・ 地域分類の1つとしての「校区（小学校区・中学校区）」のあり方の検討
- ・ 地域福祉推進計画に対する校区のあり方を検討するため地域福祉評価委員会及びフィールドワークを実施、富田中学校への活動支援及び三舞中学校区の校区の共有を図った

8. 保健・医療・福祉のネットワークづくりの充実

①保健・医療・福祉関係者との連携強化

- ・事例検討会への参加
- ・地域ケア会議への参加（在宅福祉課担当者等）
- ・地域ケア会議・困難事例検討会への参加（地域福祉担当者等）
- ・白浜町介護保険サービス提供事業者連絡会への参画
- ・白浜町訪問介護事業所連絡会への参加
- ・白浜町居宅介護支援事業所連絡会への参加
- ・白浜町健康づくり推進会議健康推進協議会への参画

9. 福祉総合相談の充実並びに判断能力の十分でない人への相談援助と支援

①福祉総合相談

- ・一般相談（福祉・生活相談）及び専門相談（法律・人権・財産・登記）を、担当者を配置して実施した。
- ・電話相談も含め常時相談受け付け体制を確保した。
- ・福祉相談員会議の実施

開催日：令和2年2月3日

場 所：白浜町社会福祉協議会本部事務所

○相談実施場所 白浜地区：本部事務所、青少年研修センター

日置川地区：高齢者生活福祉センター夢の里、みまい荘、川添山村活性化支援センター

○相談担当者 福祉相談員13名（民生委員・児童委員）、弁護士1名、司法書士1名、人権擁護委員、法務局職員

【相談所の月別相談実績】

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	3	4	1	5	6	3	5	6	7	4	1	2	47
平成30年度	7	3	7	6	3	7	4	5	6	2	4	2	56
前年比%	43%	133%	14%	83%	200%	43%	125%	120%	117%	200%	25%	100%	84%

【相談所の相談内容別実績】

相談内容	生計	多重債務等	貸金	家賃未払い	生命保険	住宅ローン	年金	職業・生業	住宅・土地	家族	離婚	健康・衛生	医療	精神保健	人権・法律	財産	事故	母子保健 児童福祉・	相談	苦情	その他	計
件数	0	4	1	0	0	0	0	0	9	0	5	0	1	0	6	2	0	0	13	0	6	47

②福祉サービス利用援助事業

- ・判断能力が不十分な高齢者や知的障害・精神障害のある方などが安心して生活がおくれるよう定期的に専門員、生活支援員がお伺いし、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を支援した。

新規契約数：0件、解約件数：0件

令和2年3月31日現在 契約実数：_____ 33件

生活支援員：_____ 4名

③法人後見事業

- ・成年後見制度に関する相談を受けるとともに、家庭裁判所からの推薦依頼に基づき成年後見人の業務を法人として行う法人後見事業を実施した。

令和2年3月31日現在 受任件数：後見 1件

保佐 1件

任意後見契約 4件

10. 関係団体（機関）並びに地域住民の参画・協働の推進

①単位老人クラブ、老人クラブ連合会活動への協力と連携

- ・白浜町老人クラブ連合会白浜支部主催「シニアレクリエーション大会」（9月19日）への協力
- ・白浜町老人クラブ連合会白浜支部主催「歩く歩く会」実施への協力
- ・白浜町老人クラブ連合会日置川支部主催「高齢者運動会」（10月23日）への協力
- ・白浜町老人クラブ連合会白浜支部主催「歌と踊りのふれあいの場」（2月12日）への協力
- ・白浜町老人クラブ連合会日置川支部主催「ペタンク・グラウンドゴルフ交流大会」（3月開催予定）中止
- ・白浜町老人クラブ連合会日置川支部主催「気になる高齢者定期見守り活動事業」への協力

②関係団体への活動助成

③関係団体（機関）との連携・協働

- ・SOS白浜（徘徊高齢者捜索ネットワーク）への参画
- ・自殺防止対策会議への参画及び三段壁周辺パトロールへの協力
- ・白浜町環境保全協議会への参画

11. 地域住民、行政及び関係機関との連携による災害時要援護者救援体制の整備推進

①地域・白浜町及び関係機関と連携を図り、災害時に備えた福祉救援体制づくりを推進

- ・パッククッキング講習の支援

日置川日赤奉仕団（日置川拠点公民館）

白浜地区民生委員・児童委員研修会（青少年研修センター）

富田区自主防災会・川口自主防災会避難訓練（富田小学校）

②白浜町の防災訓練等への参画

- ・自主防災会等避難訓練への協力

平間区自主防災訓練（平間区民会館）

才野区・堅田連合町内会 地震・津波避難訓練（西富田小学校）

日置区保小中合同避難訓練（寺山、松原、村島避難場所）

③令和元年度 広域・同時多発災害対応訓練の実施

目的：被災地で活動の拠点となる災害ボランティアセンターも多様な主体により運営されるようになった今日、県内の関係者が連携・協働して支援を進めるうえでも、活動情報の共有、共通認識は重要な鍵となります。訓練を通して、必要となる活動を学び合い、災害時にも、地域を越えた助け合いの活動を展開できるよう開催します。

開催日：令和2年1月18日（土）

開催場所：田辺市立上秋津小学校

内容：災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション

参加者：13名

主催：社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会・和歌山県災害ボランティアセンター 県市町村社協連絡協議会 和歌山県

共催：社会福祉法人田辺市社会福祉協議会 紀南ブロック社協

④令和元年度シニア災害ボランティアセミナーへの参加

開催日 : 令和2年1月19日(日)

開催場所 : 田辺市立上秋津小学校

参加者 : 6名

主催 : 和歌山県

共催 : 社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会

12. 在宅介護事業経営の安定化と充実

①介護予防・日常生活支援総合事業

居宅介護支援については、事業対象者、家族等からの相談に応ずるとともに、その心身の状況や環境等に応じて、本人や家族の意向を基に、居宅サービス又は施設サービスの提供が確保されるよう指定居宅サービス事業者、介護保険施設等との連絡調整その他の便宜の提供を行った。

訪問型サービス、通所型サービスについてはケアプランに基づいたサービスの充実を図るとともに、指定居宅介護支援事業者（ケアマネージャー）と個々のケースについて連絡・調整を行った。また、利用者ニーズに応じたサービスを実施した。

・居宅介護支援（居宅サービス計画：総合事業）（事業対象者、要支援1、要支援2）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和元年度	19	19	18	17	18	19	20	20	21	22	24	23	240
	平成30年度	18	17	17	18	17	20	18	18	17	17	19	18	214
	前年比	106%	112%	106%	94%	106%	95%	111%	111%	124%	129%	126%	128%	112%

・訪問型サービス（事業対象者、要支援1、要支援2）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和元年度	55	54	51	50	50	51	49	50	51	49	51	52	613
	平成30年度	64	64	62	65	62	56	56	55	53	55	56	52	700
	前年比	86%	84%	82%	77%	81%	91%	88%	91%	96%	89%	91%	100%	88%

・通所型サービス（事業対象者、要支援1、要支援2）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和元年度	9	8	9	8	8	9	9	8	9	9	11	11	108
	平成30年度	10	10	10	10	8	7	6	6	8	9	7	8	99
	前年比	90%	80%	90%	80%	100%	129%	150%	133%	113%	100%	157%	138%	109%

②介護保険・障がい福祉サービス事業

・居宅介護支援

要介護者や家族等からの相談に応ずるとともに、その心身の状況や環境等に応じて、本人や家族の意向を基に、居宅サービス又は施設サービスの提供が確保されるよう指定居宅サービス事業者、介護保険施設等との連絡調整その他の便宜の提供を行った。

【居宅介護支援（居宅サービス計画：介護保険）】（要介護1～5の方）

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和元年度	123	128	127	125	120	121	117	116	119	118	121	119	1,454
	平成30年度	127	129	130	130	124	126	128	124	125	122	124	123	1,512
	前年比	97%	99%	98%	96%	97%	96%	91%	94%	95%	97%	98%	97%	96%

・訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

ケアプランに基づいた訪問介護サービスの充実を図るとともに、指定居宅介護支援事業者（ケアマネージャー）と個々のケースについて連絡・調整を行った。また、利用者ニーズに応じたサービスを実施した。

【介護保険】

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和元年度	72	69	68	69	63	62	61	60	61	70	66	65	786
	平成30年度	74	73	75	75	71	74	75	72	69	67	70	70	865
	前年比	97%	95%	91%	92%	89%	84%	81%	83%	88%	104%	94%	93%	91%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和元年度	1,058	1,078	1,003	1,025	915	858	840	827	901	910	877	957	11,249
	平成30年度	1,157	1,221	1,233	1,229	1,202	1,097	1,195	1,110	1,089	1,045	1,022	1,105	13,705
	前年比	91%	88%	81%	83%	76%	78%	70%	75%	83%	87%	86%	87%	82%

【障がい福祉サービス】

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	令和元年度	15	15	13	13	14	12	14	12	14	14	14	14	14	164
	平成30年度	15	16	15	15	15	16	17	15	15	14	12	13	178	
	前年比	100%	94%	87%	87%	93%	75%	82%	80%	93%	100%	117%	108%	92%	

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和元年度	93	90	80	78	74	76	81	76	92	87	94	97	1,018
	平成30年度	130	148	162	134	132	121	150	136	133	103	106	102	1,557
	前年比	72%	61%	49%	58%	56%	63%	54%	56%	69%	84%	89%	95%	65%

【地域移動支援事業】

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和元年度	3	3	3	3	0	0	2	2	2	2	2	2	24
	平成30年度	4	4	4	4	0	4	4	4	3	2	3	3	39
	前年比	75%	75%	75%	75%	0%	0%	50%	50%	67%	100%	67%	67%	62%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和元年度	9	8	7	4	0	0	4	8	10	7	7	6	70
	平成30年度	18	13	15	10	0	5	14	17	11	7	7	7	124
	前年比	50%	62%	47%	40%	0%	0%	29%	47%	91%	100%	100%	86%	56%

・ 通所介護事業（デイサービス）

ケアプランに基づいた通所介護計画を作成し、サービスの充実を図るとともに、指定居宅介護支援事業者（ケアマネージャー）と個々のケースについて連絡・調整を行い、利用者のニーズに応じた対応を行った。

【介護保険】

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和元年度	42	43	40	42	41	40	37	38	37	37	37	39	473
	平成30年度	49	50	53	51	48	48	49	47	42	40	39	42	558
	前年比	86%	86%	75%	82%	85%	83%	76%	81%	88%	93%	95%	93%	85%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和元年度	354	382	356	376	382	308	312	325	295	307	329	348	4,074
	平成30年度	394	409	436	430	403	378	422	360	344	295	306	334	4,511
	前年比	90%	93%	82%	87%	95%	81%	74%	90%	86%	104%	108%	104%	90%

【町単独障がい者デイサービス】

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和元年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	平成30年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	前年比	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

利用回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	令和元年度	9	9	4	5	5	4	5	5	5	5	4	5	65
	平成30年度	8	9	9	9	9	8	9	7	9	8	8	9	102
	前年比	113%	100%	44%	56%	56%	50%	56%	71%	56%	63%	50%	56%	64%

③苦情解決事業

- ・苦情解決第三者委員の設置
- ・「苦情解決第三者委員会議」（令和2年2月20日）を開催し、居宅サービス事業の状況報告を行った。

出席者 苦情解決第三者委員5名 苦情受付担当者（介護保険事業所管理者）3名

会長・事務局長・事務局次長・在宅福祉総括係長

13. 在宅福祉受託事業、地域支援受託事業等の行政委託事業の受託運営

①在宅福祉受託事業

- ・訪問介護員派遣事業（処遇困難な独居高齢者・高齢者世帯等）の受託運営
- ・障害者生活指導員派遣事業の受託運営・・・延べ3回
- ・デイサービス事業（処遇困難な独居高齢者・高齢者世帯等）の受託運営
- ・配食サービス事業（調理等が困難な心身障がい者等）の受託運営・・・延べ145食
- ・食の自立アセスメントの受託運営

②地域支援受託事業

- ・配食サービス事業【高齢者等日常生活支援事業】（昼食弁当の配食・安否確認）の実施

配食数	事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	白浜事業所	230	200	216	237	217	242	278	264	287	262	255	293	2,981
	日置川支部	226	210	241	275	256	231	272	261	282	253	254	280	3,041
	令和元年度	456	410	457	512	473	473	550	525	569	515	509	573	6,022
	平成30年度	477	462	466	441	470	378	505	466	433	413	432	466	5,409
	前年比	96%	89%	98%	116%	101%	125%	109%	113%	131%	125%	118%	123%	111%

※白浜事業所の一部再委託を実施

- ・地域デイサロンの実施

実施場所 9月までは、白浜、富田、椿・日置、三舞の4ヵ所で開催

10月より日置・椿・三舞が合同開催となり、3ヵ所で開催（開催回数は、月に1ヵ所当たり、月3回実施）

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	96	111	102	112	112	109	106	108	106	98	99	0	1,159

・ふれあい・いきいきサロン事業運営支援の実施

白 浜地区 13地区 延べ 60回 延べ 824名

日置川地区 8地区 延べ 57回 延べ 567名

ふれあい・いきいきサロン連絡会の開催

※その他のサロン活動（広域及び多世代交流型サロン）

内 容	開催内容	開 催 場 所	頻度	参加人数 (延べ人数)
サロンレインボー	喫茶サロン	美之浦保健センター	9回	127名
作って食べよう会	食事提供型サロン	美之浦保健センター	9回	122名
安宅地区なかよし会	食事提供型サロン	安宅住民交流センター	月1回	—

地域ボランティアによる自主的活動として実施。現在、町委託事業の実績とは認められていないが、現在あり方について検討中。

・家族介護者交流事業の実施

「介護者のつどい」として開催

内 容	開 催 日	開 催 場 所	参加人数
介護に関する相談会	6月18日	白浜町社会福祉協議会本部事務所	1名
介護に関する相談会	6月20日	白浜町社会福祉協議会日置川支部	1名
介護に関する相談会	3月18日	白浜町社会福祉協議会本部事務所	0名
介護に関する相談会	3月19日	白浜町社会福祉協議会日置川支部	0名

・高齢者等介護者支援員派遣事業の実施

高齢者等を介護する家族を支援する事業として、支援員の養成を行うと共に、相談体制の整備を図った。

○支援員の活動内容

介護家族者がいる方への支援《地域支援事業》

介護者がやすらげる時間を取れるように、介護者に代わって見守り、話し相手等を行う。

介護家族者がいない一人暮らしの方への支援《社協単独事業》

ひとり暮らしの方の閉じこもりなどを防ぐために、見守り、話し相手等を行う。

○支援員養成講座

講座名	開催日	講師	参加者数	登録者数
高齢者等介護者支援員派遣事業養成講座	9月18日	和歌山県介護普及センター (特別養護老人ホーム真寿苑) 主任 松本 温子 氏	10名	3名

・ランチ相談窓口事業（日置川地域）の実施

地域包括支援センターのランチ相談窓口として、日置川地域の高齢者の相談支援を実施

【相談件数】

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日置川支部	0	2	1	2	0	0	1	1	0	1	1	2	11

・生活支援サポーター養成事業の実施

講座名	開催日	講師	参加者数
地域共生社会に向けた住民、専門職、行政の協働した取り組み ～「参加の力」で地域共生力を高めよう！	7月28日	大阪ボランティア協会 早瀬 昇氏	54名
白浜町の現状・課題と地域包括ケアシステム ～生活支援サポーター事業について～	9月28日	白浜町役場 介護保険係 地域包括支援センター	12名
コミュニケーションについて	12月7日	和歌山県社会福祉士会 崎山 賢士氏	11名
家庭でできる簡単介護技術について ～車イスの操作や移乗の方法等について～	1月25日	白浜町社会福祉協議会 訪問介護事業所	11名
地域の良い所や課題を知る手法を知ろう ～地域支え合いマップづくり等の進め方について～	2月15日	白浜町社会福祉協議会等	12名

平成29年度より、地域の高齢者等が抱える生活ニーズに応え、その地域活動の推進者である住民サポーターを養成することを目的に実施。

・生活支援体制整備事業にかかる第2層生活支援コーディネーターの配置

生活支援体制整備事業の実施に伴い、第1層生活支援コーディネーターである白浜町役場民生課地域包括支援センターと協働し、第2層生活支援コーディネーターとして高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備の推進を図る。

○第2層生活支援コーディネーターの配置（4名）

白浜地区、富田地区、日置川地区に各1名を配置し、また、第1層生活支援コーディネーターとの連携を図るため1名の職員を配置

○生活支援体制事業第1層協議体への参画

名 称	開催日	内 容
第1回白浜町生活支援体制整備事業第1層協議体	7月18日	1. 白浜町日常生活支援総合事業について 2. 生活支援コーディネーターからの報告について
白浜町議会全員協議会	8月16日	1. 白浜町日常生活支援総合事業について 2. 第2層協議体活動報告について
第2回白浜町生活支援体制整備事業第1層協議体	12月7日	1. 生活支援コーディネーターからの報告について

14. 高齢者生活支援ハウス受託事業（高齢者生活福祉センター夢の里運営事業）の受託運営の安定化と居住部門機能の充実

①入居者一人ひとりの心身の状況に対応し、個性を尊重したサービスの実施

・サービス内容

○食事提供が必要な方に昼食・夕食を提供

○在宅生活同様、介護保険制度・障がい福祉サービス等の在宅福祉サービス（地域支援事業・介護予防日常生活支援総合事業・介護予防事業・訪問介護・通所介護・訪問看護等）の利用で生活の自立を支援

○自立を基本としながら、生きがいがづくり、趣味・娯楽活動を支援

《主な入居者対象行事等》

日帰りの外出支援サービス（食事会・スーパー等への買い物外出等）、保育園、小学校、地域住民との交流ほか

○体調不良時の医療機関受診介助

○買い物支援

○定期的な見守り、相談支援

②緊急時の短期入居の受入れ体制の確保

・白浜町高齢者緊急ショートステイ事業

令和元年度末の入居利用状況・・・9室（9名） 年間延べ利用者 12名

15. 共同募金事業への協力

①白浜町共同募金委員会の運営支援

・白浜町共同募金委員会の開催

②共同募金・歳末たすけあい募金の実施

・福祉委員や町内会・区の協力を得て、目標額達成に努めた。

共同募金実績額 一般募金 2,692,825円

歳末たすけあい募金 2,253,809円

・街頭募金の実施

福祉委員、町内5小学校児童、3中学校生徒の協力を得て、町内9ヶ所にて啓発並びに募金活動を行った。

・配分金の効果的活用

○一般募金（赤い羽根）は次年度の配分金（一部）として受入れ、地域福祉事業に活用する。

○歳末たすけあい募金は、①歳末支援金として生活が困窮している、70歳以上のひとり暮らし高齢者、重度障がい児者、ひとり親世帯等に配分。

②団体組織支援事業として障がい者団体、NPO法人、ボランティア団体等へ年末年始の活動支援、③おせち料理配食事業、④「第4回みんな集まれ！しら・はぐフェスティバル」子どもふれあいブース、⑤寝たきり高齢者等への支援、⑥愛の日事業のため保育園・幼稚園の活動支援、⑦生活困窮者支援事業として生活支援物資購入に活用した。

(単位：円)

合 計		歳末支援金	団体組織支援	おせち料理	「第4回みんな集まれ！し ら・はぐフェスティバル」 子どもふれあいブース	寝たきり老人等 見舞品贈呈事業	愛の日事業	白浜ほっとぷろじえくと (生活困窮者支援事業)	次年度 地域福祉活動配分金
¥2,253,809		¥400,000	¥183,800	¥61,000	¥89,256	¥80,907	¥539,854	¥211,840	¥687,152
100%		18%	8%	3%	4%	4%	24%	9%	30%
内 訳	準備金	0							
	募金額	¥2,253,809							

16. 各種支援事業の充実

①福祉器具貸与事業の実施並びに福祉用具・介護用品等の斡旋

- 福祉器具貸与事業の実施

白浜地区 車いす 18件 介護用ベッド 1件 その他 4件
 日置川地区 車いす 9件 介護用ベッド 10件 その他 2件

- 福祉用具・介護用品等の斡旋

②敬老月間事業の充実

- 敬老会の後援（9月26日） 長寿祝い品として会場にて「タオル」を配布

③生活一時資金貸付事業の実施

- ・令和2年3月31日現在 貸付件数 延べ 13件（滞納件数含む） 償還残額 435,000円
- ・令和元年度における貸付件数 2件 貸付額 113,000円

④生活福祉資金貸付事業（実施主体：和歌山県社会福祉協議会）の実施

- ・令和2年3月31日現在 貸付件数 延べ 9件 償還完了 1件
- ・令和元年度における貸付件数： 5件、相談件数： 26件 （内 新型コロナウイルス感染症特例貸付 1件 相談15件）

⑤愛の日事業の実施

- ・町内のひとり暮らしの高齢者（70歳以上）に対して、町内の保育園・幼稚園児が贈り物を作成、民生委員・児童委員により訪問
○届けた贈り物の数：694個（白浜地区 472個、日置川地区 222個）
- ・寝たきり高齢者・重度障がい者へのプレゼントの贈呈：大判バスタオル44枚（白浜地区 37枚、日置川地区 7枚）

⑥愛のバザー・福祉バザーの開催

（白浜地区）

愛のバザー（白浜会場）	白浜会館（阪田）	3月1日	新型コロナウイルス感染症 対策にて次年度に延期
愛のバザー（富田会場）	富田農業研修会館（栄）	3月1日	

(日置川地区)

福祉バザー (第25回日置川農林業まつり)	日置中学校体育館(日置)	12月1日	売上	103,620円
			募金	797円
			合計	104,417円

⑦歳末たすけあい運動の実施

- ・歳末支援金配分事業：49件
- ・団体組織支援事業：2団体
- ・おせち料理配布事業：14件
- ・寝たきり高齢者等見舞品贈呈事業：44件
- ・「第4回みんな集まれ!しら・はぐフェスティバル」子どもふれあいブース：10月20日実施
- ・愛の日事業：プレゼント配布694件、ボランティアグループによる活動支援
- ・生活困窮者支援事業：支援物資(レトルト食品等)の購入

⑧地域を元気にする活動への協力

- ・白浜町商工祭への協力(平成31年4月13・14日:福祉について考えるブースを出展)
- ・第6回南紀白浜トライアスロン大会への協力(令和元年5月19日:大会運営準備、ボランティア募集、当日ボランティア活動等)
- ・第23回ごみと環境フェアへの協力(令和元年6月23日:バザー販売及びリサイクル活動の啓発)
- ・第29回南紀日置川リバーサイドマラソン大会への協力(令和元年11月17日:給水所活動等)
- ・第32回全国健康福祉祭和歌山大会(ねんりんピック紀の国わかやま2019)への協力(令和元年11月9日~12日)